

科目ナンバリング		G-HUM35 50000 LJ38									
授業科目名 <英訳>		人文情報学 1 B Informatics in Humanities 1B				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 安岡 孝一			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	月4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名		東アジア文化論									
[授業の概要・目的]											
この授業では、世界の文字コードについて講義をおこなう。日本の文字コードのみならず、欧米やアジアの文字コードに関して、それらがどのような技術的・社会的条件のもとに成立したかについて、演習形式で講義を進める。											
[到達目標]											
現代の文字コードを通し、国際的な「決めごと」というものが、どのような形で成立し、あるいは成立しなかったかについて理解する。											
[授業計画と内容]											
以下のような課題について、1課題あたり1～3週の授業をする予定である。											
<ol style="list-style-type: none"> 1. 当用漢字表・当用漢字字体表・人名用漢字・常用漢字表・表外漢字字体表とJIS漢字コード 2. 現代漢語常用字表・現代漢語通用字表・通用規範漢字表・標準電碼本とGB漢字コード 3. 常用國字標準字體表・次常用國字標準字體表とCCCII・BIG5・CNS 11643 4. KS C 5601 KS X 1001の変遷 5. QWERTY配列とASCII・ISO/IEC 646 6. クメールの文字コード 7. Microsoft Windowsにおける文字コードの実装 8. ケータイ絵文字の国際化 											
[履修要件]											
特別な予備知識は必要としないが、インターネットへのアクセスや電子メールの使用経験があることが望ましい。											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
授業参加[議論]内容(50%)とレポート(50%)											
[教科書]											
適宜、資料を配布する。											
[参考書等]											
(参考書) 随時紹介する。											
[授業外学習(予習・復習)等]											
Unicodeを中心とする文字コードが、日頃の生活にどのように使われているかを、多少なりとも考えておくこと。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーは特に定めないが、講義時間外の連絡は基本的に電子メールでおこなうこと。											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											